

## 1 小单元名 「自動車をつくる工業」

### 2 小单元について

本小单元は、学習指導要領の目標（2）「我が国の産業の様子、産業と国民生活との関連について理解できるようにし、我が国の産業の発展や社会の情報化の進展に関心をもつようにする。」を受け、内容（3）のア「様々な工業製品が国民生活を支えていること」、ウ「工業生産に従事している人々の工夫や努力、工業生産を支える貿易や運輸などの働き」を取り扱うものである。

我が国の国民生活を支える重要な役割を果たしている工業の中でも、自動車工業は製造、販売、運輸など、関連する産業の裾野が広い日本の基幹産業である。その効率的な生産システムと高い品質でめざましい発展を遂げ、国別の生産台数では、中国、アメリカに続き世界第3位である。成長の背景として、消費者の多様化したニーズに合わせて、多品種で高品質な製品を生産する工程の機械化や、ジャストインシステム生産方式に代表される関連工場の連携が挙げられる。さらに、常に作業を改善していこうとする、自動車工業に携わる人々の工夫や努力も大きい。また、環境問題を受け、ハイブリッド車や新エネルギー車の開発を進めるなど、新しい技術の開発に努めていることも背景の一つである。消費者や社会のニーズに応え、自動車生産の様子や、自動車工業に携わる人々の工夫や努力を具体的に学ぶことを通して、国民生活を支える工業生産を捉えさせていきたい。

これまでに子供たちは、前单元「わたしたちの生活と食料生産」において、農業や水産業が国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることや自然環境と深い関わりをもって営まれていることを学んできた。自動車工業も同様に、自動車が国民の生活を支えたり、豊かにしたりしていることに気付かせたい。

本学級は、社会科の学習において、「調べて分かったことを友達と話し合うことが楽しい」という前向きな気持ちで取り組んでいる子供が多い。また、「ノート作りが楽しい」と感じる子供も多い。資料から分かったことや考えたことをノートに書き、友達と伝え合う楽しさを感じていると考えられる。一方、前单元の「調べる」過程で、毎時間習得した知識はあるものの、それらを関連させて、学習問題に対するまとめを考えることが難しいと感じる子供がいた。学習問題に対するまとめを考える際、具体的事実の羅列や、「様々な工夫や努力」といった抽象的な言葉で一括りにしてしまう子供もいる。具体的事実を分類・関連付けながら、それらを根拠として社会的事象の意味を理解し、まとめを考える学習活動をしていく必要がある。

本小单元では、自動車工業に携わる人々が、消費者や社会のニーズに応え、環境に配慮しながら、優れた製品を生産するために様々な工夫や努力をしていることを理解できるようにし、我が国の工業の発展について自分の考えを持てるようにしたい。実態から、消費者が自動車に何を求めているかを意識している子供は少ないと分かった。より良い理解につなげるため、また、自動車に対する興味を高めるために、保護者がどんな理由で自動車を選んでいるのか、自動車調べを行う。その結果を資料にまとめ、消費者に様々なニーズがあることを理解させたい。「なぜ、世界で多くの人に選ばれ、信頼されているか」という問いから、追究意欲を持たせて、学習を進めていきたい。そうすることで、よりよい自動車を目指して工夫や努力をしていることを深く理解することができると思う。単元の終末には、キャッチコピー作りと話し合い活動を設定する。そうすることで、単元の学習を振り返り、習得した知識の関連を考えることができるだろう。また、話し合い活動では、個人の考えをつなぎ、学級全体で話し合いながら、自動車づくりについて関係図にまとめていくことで、具体的事実を根拠として、社会的事象の意味を理解して学習問題に対するまとめを考えていくことができると思う。

### 3 子供の実態（男子 18 名 女子 14 名 計 32 名）

#### 【自動車と自動車生産についての知識】

1	家庭に自動車はありますか。 ・ある…29名（91%）      ・ない…3名（9%）
2	自動車はどんなときに使いますか。（1で答えた人） ・出かけたり、長距離で移動したりするとき…26名      ・荷物の多いとき…1名 ・急いでいるとき…1名      ・雨の日の移動のとき…1名
3	家の人になぜ、その自動車を買ったのか理由を知っていますか。（1で答えた人） ・知っている…7名（21%）      ・知らない…25名（79%） →知っているの理由 ・便利、必要だから…4名      ・遠いところに行きたいから…1名 ・大人数で乗りたいから…1名      ・車の形がかっこいいから…1名
4	自動車は生活する上で、なくてはならないものですか。（複数回答） ・はい…29名（91%）      ・いいえ…3名（9%） →はいの理由 ・遠いところに行くときに必要…18名      ・急いでいるときに必要…6名 ・移動が便利…5名      ・電車では行けないところに行ける…5名 ・重い荷物を運べる…2名      ・雨の日が楽…1名      ・お年寄りの移動が楽…1名 →いいえの理由 ・がんばれば歩いても行ける…2名      ・電車があれば十分…1名
5	自動車を生産する工場では、どのような工夫をしているでしょうか。（複数回答） ・品質検査をしている…6名      ・人が乗りやすいように考えている…5名 ・事故が起こらないように研究している…5名      ・安全面に気を付けてつくる…5名 ・役割分担をしている…3名      ・頑丈さを考えて作る…3名 ・無駄がないようにつくる…2名      ・人気の出る車の形を考えてつくる…2名 ・買う人の好きな車にする…2名      ・きれいに仕上げる…2名 ・すぐにできるようにつくる…1名      ・体に害のあるものを出さない…1名
6	これからの自動車生産に求められていることは何でしょうか。（複数回答） ・安全性…6名      ・衝突防止機能…6名 ・運転の自動化…5名      ・自然に優しい…4名 ・運転が楽…3名      ・排気ガスがない…3名 ・自動車の性能を高める…2名      ・ガソリンを使わない…2名 ・値段を安く…2名      ・人気の車をつくる…1名 ・早く、効率よく…1名      ・たくさんつくる…1名 ・安心…1名      ・子供から老人まで乗れる車…1名 ・分からない…2名

自動車は、3名を除く 29 名の家庭で所有しており、出かけたり、長距離で移動したりするときに利用している。また、多くの子供が将来、自動車を利用したいと考え、日常生活においても自動車の必要性を感じている子供が多い。しかし、保護者がその自動車を選んだ理由については、「便利、必要だから」という抽象的な考えに留まり、具体的に考えられる子供は少なかった。このことは、毎日

目にしたり、保護者の車に乗って普段から利用したりしているが、改めて自動車について考えたり、振り返ったりする経験がないことを示している。

自動車生産における工夫については、全員が答えることができた。また、複数の工夫を考えることができる子供も多かった。しかし、その内容を見ると、「人が乗りやすいように考えている」や「安全面に気を付けている」など、漠然とした考えが多かった。今後の自動車生産に求められることについては、30人が答えることができた。安全面や環境面への回答が多く、最近ニュースなどで多く報じられている運転の自動化について答える子供もいる。しかし、自動車生産における工夫と同様に、具体的に答えることができない子供がいる。これらのことは、子供たちにとって、普段目にしている自動車は、完成された製品であり、その製造過程について考えた経験が少ないことがあげられる。また、ニュースやCMなどで、自動車を扱った記事を目にしていることから、知っていることはあるが、それらは、製造過程の一部分であったり、自動車の機能の1つにすぎなかったりすることが原因であると考えられる。

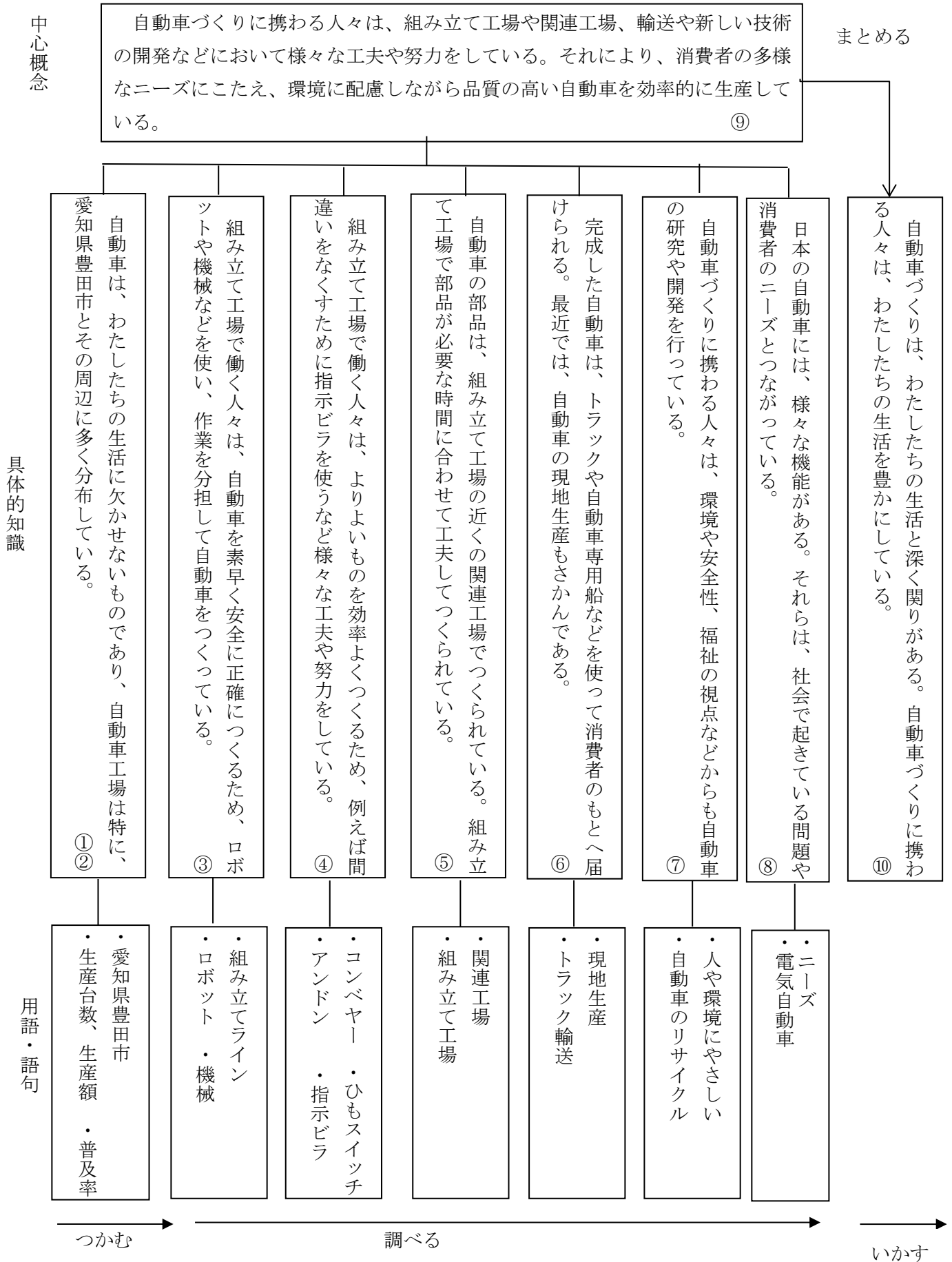
本小单元では、自動車工業について追究していくことになる。自分たちの生活を支える自動車にはどのようなものがあるか、自動車がどのような工業製品なのか、消費者はどのようなことを求めているのかといったことを保護者への自動車調べなどの資料から捉えさせることで、「調べたい」という意欲を高めていけるようにしたい。また、自動車生産において、「どこで」「だれが」「どのように」して消費者や社会のニーズに応えながら、様々な種類の自動車を正確に生産しているのか、自動車社会において、どのような問題があり、その解決をしているかというように調べる観点を明確にし、予想を持たせることで、見通しを持って、自動車づくりに携わる人々の工夫や努力を調べていけるようにする。また、教科書や資料集で調べることに加え、「TOYOTA クルマこどもサイト」などのサイトを利用して写真や動画などを視聴し、生産の様子を視覚的に捉えさせることにより、具体的に理解できるようにしたい。

## 【社会科学習を進める力】

7	学習したことを、自分の言葉でまとめることはできますか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・できる…14名 (56%)</li> <li>・どちらかというとできる…12名 (26%)</li> <li>・どちらかというとできない…4名 (12%)</li> <li>・できない…2名 (6%)</li> </ul>
8	自分で考えたことを友達に進んで発表することはできますか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・できる…9名 (31%)</li> <li>・どちらかというとできる…14名 (42%)</li> <li>・どちらかというとできない…6名 (18%)</li> <li>・できない…3名 (9%)</li> </ul>
9	友達と話し合うことで、自分の考えはどのように変わりますか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな考えが分かる (広まる) …13名 (40%)</li> <li>・分かったことが深まる…9名 (27%)</li> <li>・分かることが増える…6名 (18%)</li> <li>・間違いに気付く…3名 (9%)</li> <li>・変わらない…2名 (6%)</li> </ul>
10	社会科でキャッチコピーを作るのは楽しいですか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しい…16名 (54%)</li> <li>・どちらかという楽しい…14名 (42%)</li> <li>・どちらかという楽しくない…2名 (6%)</li> <li>・楽しくない…0名 (0%)</li> </ul> <p>→楽しい、どちらかという楽しいの理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・考えて短い言葉にまとめるのが楽しい…10名</li> <li>・考えながら振り返ることができる…6名</li> <li>・調べたことをまとめられる…6名</li> <li>・作って、友達と交流できる…4名</li> <li>・自分なりに工夫して、表現できる…3名</li> <li>・生産者の工夫や努力が分かりやすくなる…1名</li> </ul>
11	キャッチコピーを作る良さは何だと思いますか。(複数回答) <ul style="list-style-type: none"> <li>・今までまとめたことが分かるようになる…6名</li> <li>・大切なことを意識してまとめられる…6名</li> <li>・楽しく、自分で考えてまとめられる…4名</li> <li>・友達に自分の考えを伝えやすい…4名</li> <li>・友達と自分の作ったものとを比べて、理解が深まる…4名</li> <li>・書く力が高まる…3名</li> <li>・一目で大切なことが分かる…3名</li> <li>・キャッチコピーを見た人が興味を持ってくれる…1名</li> <li>・分からない…1名</li> </ul>

社会科の学習についての質問では、学習したことから、自分なりの考えを持つことができる子供や、友達と協力して学習することの良さを理解している子供が多くいる。また、キャッチコピーについての質問では、30人の子供が楽しさを感じていた。学習してきたことを短い言葉に表し、その理由を説明することによって、これまでの学習を振り返ったり、友達と交流することによって、理解が深まったりする良さをしている子供が多かった。このような実態を生かして、本単元の終末にキャッチコピー作りと話し合い活動を設定する。そうすることで、自動車生産について学習してきた個別の知識を関連付けて振り返ったり、自分では気付けなかった視点に気付いたりして、学習のねらいに迫っていきたい。

#### 4 知識の構造図



## 5 小単元の目標

- 自動車をつくる工業を通して、我が国の工業生産について意欲的に調べ、自動車産業に従事している人々の工夫や努力、工業生産を支える貿易や運輸などの働きを理解するとともに、国民生活を支える我が国の工業生産の発展について考えることができる。
- 我が国の工業生産の様子から学習問題を見出し、自動車をつくる工業を具体例として、調査したり、地図、統計などの資料を活用したりして調べたことを白地図や作品にまとめるとともに、工業生産と国民生活とを関連付けて考えたことを適切に表現することができる。

## 6 小単元の評価規準

観点	評価規準
社会的事象への 関心・意欲・態度	○工業生産の様子に関心を持ち、自動車をつくる工業の製造の過程や製品の販売、輸送に見られる工夫について意欲的に調べるとともに、我が国の工業生産の発展について考えようとする。
社会的な 思考・判断・表現	○我が国の工業生産の様子について、学習問題や予想、学習計画を考え表現している。 ○工業生産に携わる人々が、消費者や社会のニーズに合った新しい技術の開発、資源の有効な利用や確保、環境への配慮などに工夫や努力をして国民生活を支える役割を果たしていること、我が国の工業生産の発展にはこれらの工夫や努力が欠かせないことについて考えたり判断したりして、適切に表現している。
観察・資料活用の技能	○自動車をつくる事例として、我が国の工業生産の様子について調査したり、地図、統計などの資料を活用したりして必要な情報を集め、工業生産に携わる人々が、製造の過程や製品の輸送などにおいて工夫や努力をしていることを読み取っている。 ○工業生産に携わる人々が、製造の過程や製品の輸送などにおいて工夫していることを絵、文章、グラフなどにまとめている。
社会的事象についての 知識・理解	○工業生産に携わる人々が、消費者や社会の多様なニーズにこたえ、環境に配慮しながら、優れた製品を生産するために様々な工夫や努力をしていることを理解している。 ○完成した自動車がどのように世界の消費者に届けられているか、また海外での現地生産も行われていることを理解している。

## 7 小単元の指導計画

過程	時配	主な学習活動と内容
つかむ	1	<p>○グラフや地図を見て、日本の乗用車生産台数の変化や主な産地について気付いたことや分かったことを話し合う。また、自動車がどのような工業製品であるか知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乗用車の普及は8割を超えている。</li> <li>・自動車は、愛知県豊田市とその周辺で多く作られている。</li> <li>・自動車は、細かいねじなども合わせると、約3万個の部品からできている。</li> </ul>
	2	<p>○世界の自動車の販売台数でトヨタが4年連続で首位であったことや、信頼度でトップ5に日本の自動車会社が4社入ったことなどを知って、学習問題を見出し、予想を立て、学習計画を立てる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>自動車づくりにたずさわる人々は、よりよい自動車をたくさんつくるために、どのような工夫や努力をしているのだろうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさんの自動車をつくるために、機械やロボットを使っているのではないか。</li> <li>・新しい機能を備えた車の開発をしているのではないか。</li> <li>・不良品が出ないように、たくさん品質検査をしているのではないか。</li> <li>・お客さんの注文に合わせて、正確につくっているのではないか。</li> </ul>
調べる	3	<p>○自動車の生産工程について調べ、工夫や努力について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロボットや機械などを使って、すばやくたくさんの自動車をつくっている。</li> <li>・作業を分担してつくっている。</li> <li>・働く人が、安全に作業できるように、会社に対して、提案できる。</li> </ul>
	4	<p>○よりよい自動車を効率よくつくるために、組み立て工場では、様々な工夫や努力をしていることを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・注文された車を生産するために、指示ビラを使って、作業している。</li> <li>・異常や作業の遅れがあった場合は、ひもスイッチで知らせている。</li> <li>・シートなどの部品は、組み立て工場では作っていない。</li> </ul>
	5	<p>○関連工場では、どのように自動車の部品がつくられ、組み立て工場に運ばれているか調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な時に必要な分だけ生産して、組み立て工場にトラックで運んでいる。</li> <li>・組み立て工場と関連工場全体が、大きな1つの工場のようにつながっている。</li> </ul>
	6	<p>○注文した自動車が消費者に届くまでの過程について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車の原料は、主に船で輸送されていて、工場は海の近くや高速道路の近くにある。</li> <li>・トラックで、商品に傷がつかないように、慎重に運んでいる。</li> <li>・海外での現地生産をされていて、現地の人の希望に合った自動車を生産している。</li> </ul>

	7	<p>○自動車生産が人や環境に与える影響を知り、これからの自動車生産に求められていることを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二酸化炭素の排出量における自動車が占める割合、限りあるガソリンの消費、廃棄となる自動車数などから、自動車工業が抱える問題点について考える。</li> <li>・自動車をつくっている人は、環境、安全、福祉の観点から、人や環境にやさしい車を目指して研究開発している。</li> </ul>
	8	<p>○海外の自動車と日本の自動車を比べ、日本の車に備わっている様々な機能について調べる。また、それらの機能が社会的な問題や消費者のニーズによって開発されていることを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の自動車は燃費効率が良く、環境にやさしい。</li> <li>・調べた機能は、消費者のニーズや社会問題にこたえるために備わった機能だ。</li> </ul>
ま と め る	9 本 時	<p>○「まとめカード」を分類、整理して、意味を見出し、学習問題に対するまとめを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全に素早くつくるために、機械やロボットを使って自動車をつくっていた。</li> <li>・より品質の良い自動車をつくるために、人の手を使って組み立てたり、検査したりしていた。</li> <li>・自動車をつくる人々が作業しやすいように、会社に提案したり、無駄をなくしたりしていた。</li> <li>・お客さんの注文に合うように、指示ビラで間違いのないようにしたり、美しく色を塗るために4回も塗装したりしていた。</li> <li>・部品をリサイクルしたり、自然エネルギーを使った自動車の開発をしたりして、環境にやさしい自動車をつくっていた。</li> <li>・お客さんのためにキャリアカーで慎重に運んだり、自動車専用船で運んだりしていた。</li> <li>・品質を大切にするために、ひもスイッチやアンドンを設置していたり、海外では、現地の方が日本の技術者と連絡をとれるようにしていたりしていた。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>日本の自動車づくりは、消費者の多様なニーズにこたえ、環境に配慮しながら品質の高い自動車を効率的に生産している。そのため、日本の自動車は、多くの人に選ばれ、信頼されている。</p> </div>
い か す	10	<p>○自動車生産とわたしたちの生活とのつながりを話し合い、自分にできることを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車づくりとわたしたちの生活は、深くつながっている。自動車があることで、わたしたちの生活が豊かになったり、支えられたりしている。</li> <li>・社会で起きている問題を解決するために、自動車会社と消費者であるわたしたちも、環境に配慮しながら自動車と関わっていく必要がある。</li> </ul>



## 8 市教研社会科研究主題解明のための方策

研究主題：「みえる わかる・・・いかす」

よりよい社会の形成に参画する資質や能力の基礎を培う社会科学習

＜本年度主題解明のための方策＞

- ①目指す子供の姿、習得すべき知識・概念、身に付けさせたい力の明確化
- ②追究意欲を高め、社会認識が深まり、参画への意識が育つ教材の開発
- ③主体的に学び、参画へ意識が高まる学習過程の工夫
- ④社会認識の深まりや社会参画の資質や能力を見取る評価の工夫

本単元では、上記の中から次の点に留意して指導及び評価に取り組んでいきたい。

①目指す子供の姿、習得すべき知識・概念、身に付けさせたい力の明確化

○社会認識が深まる言語活動の充実

本時までには子供たちは、自動車づくりに携わる人々が、製造、販売、輸送などの過程で様々な工夫や努力をしていることを理解してきている。また、二酸化炭素排出の削減や資源の再利用化などの問題から、環境に配慮した自動車を開発していることなどを理解している。しかし、「調べる」過程で習得された知識は個別であり、事実認識に留まっているため、習得した知識の共通点や関連性に気付きにくく、社会認識が深まるとは言い難い。そこで、本時では、協働学習に対する高い意欲とキャッチコピー作りの良さを理解していることを生かし、学習を通して蓄積された事実認識を用いて話し合い活動を設定する。その際、学習問題に対するまとめを考えるための「まとめカード」を活用する。「まとめカード」は、「調べる」過程で習得した知識の中で、学習問題に答えるためのキーワードになる言葉を書き留めたものである。1つの付箋紙に1つの言葉を書くことで、付箋紙を操作しながら共通点や関連性に着目してまとめることができると考える。そして、キャッチコピー作りでは、それらを共通点や関連性に着目して、キャッチコピーを作る材料とする。「まとめカード」のまとまりごとに見出し（キャッチコピー）をつけることで、社会的事象の意味を理解することができるだろう。さらに、上位の意味について考えることで、より深く自動車生産について理解を深めることができると考える。

## 9 本時の指導

### (1) 目標

○日本の自動車生産について調べてきた事実を分類・整理し、関連付けながら社会的事象の意味を見出し、学習問題に対するまとめを考えている。 (思・判・表)

### (2) 展開

時配	学習活動と内容	○教師の指導と支援 ◆評価	資料
5	<p>1 前時までの学習を振り返り、本時のねらいを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・組立工場では、機械やロボットの良さ、人の良さを考えて、役割分担して自動車をつくっていた。</li> <li>・リサイクルしたり、自然エネルギーを使った自動車の開発をしたりして、環境にやさしい自動車をつくっていた。</li> </ul>	<p>○日本の自動車づくりがどのように行われているかを具体的に振り返ることができるように、ノートや掲示物を用いる。</p> <p>○学習問題に対するまとめを考えるための言葉「まとめカード」を書き留めた付箋紙が多いことから、分かりやすく整理してまとめるために、キャッチコピーを使って考えていくことを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習を振り返る掲示物</li> <li>・「まとめカード」の一覧表</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>日本の自動車づくりの良さをキャッチコピーに表し、学習問題に対するまとめを考えよう。</p> </div>			
13	<p>2 書き留めた付箋紙を関連付けながら分け、見出し（キャッチコピー）を付け、関係図を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・素早く、正確に、間違いをなくすは、消費者のことを考えているからまとめられるな。</li> <li>・組み立てラインとジャストインタイムは、効率よくつくっているからまとめられるな。</li> <li>・エコと自然エネルギーは、環境を大切にしたい自動車づくりと見出しをつけられるな。</li> </ul>	<p>○1枚1枚の「まとめカード」に書いてあることを見て、これまでの学習を振り返りながら共通点や関連性を見つけ、まとまりごとに「まとめカード」を縦につなげるよう指示する。</p> <p>○縦につないだ「まとめカード」の共通点や関連性から、意図や目的を考え、見出し（キャッチコピー）をノートに書くように指示する。</p> <p>○「まとめカード」の共通点や関連性が見つけられない子供には、ノートを見返したり、共通点や関連性のある例を提示したりして、個別に支援する。</p> <p>○見出し（キャッチコピー）を考えられない子供には、「それらは、何のためにあるのか」と問い、意図や目的について考えられるように助言する。</p> <p>○見出し（キャッチコピー）を考えられた子供には、「それらは、だれにとって、どんないいことがあるか」と問い、上位の概念（意味）について考えるように指示する。</p>	

15	<p>3 個人で考えたことを発表し、全体で話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・組立工場や関連工場、輸送などにおいて、品質にこだわってつくっていたので、品質の高い自動車づくりというキャッチコピーにした。</li> <li>・品質の高い自動車づくり、ニーズにこたえる自動車づくり、効率よくつくる自動車づくりは、消費者や自動車を利用する「人」を大切にしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○友達の記事を聞いて、共通点や相違点に着目しながら聞くように指示する。</li> <li>○考えを発表する際、習得してきた知識や具体例を理由にしながら、発表するように指示する。</li> <li>○個人の考えを学級全体で共有したり、意味について理解するために、問い返したり、発表をつないだりして、話し合いを進める。</li> <li>○学級全体で話し合えるように、個人の発表を整理して、関係図を黒板に示す。</li> </ul>	
7	<p>4 学習問題に対するまとめを考え、発表し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ノートや板書を参照したり、話し合いを振り返ったりして、まとめを書くように指示する。</li> <li>○まとめが書けない子供には、話し合いですてきたキーワードを使ったり、書き出しを例示したりして支援する。</li> <li>◆日本の自動車づくりに携わる人々の工夫や努力について、これまで得た知識を活用したり、話し合い活動を通して考えたりしたことを、まとめに適切に表現している。</li> </ul> <p>(ノート/思・判・表)</p>	
<p>自動車づくりにたずさわる人々は、消費者の多様なニーズにこたえ、環境に配りよしながら品質の高い自動車を効率的に生産している。そのため、多くの人に選ばれ、信頼されている。</p>			
5	<p>5 本時の学習を振り返り、今後も、日本の自動車づくりの良さが継続していくために必要なことは何かを考え、発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○世界で日本の自動車が多くの人に選ばれ、信頼されていたことを想起させ、本時の学習を振り返りながら考えるように指示する。</li> </ul>	

10 資料

<各時間のまとめカードに書く言葉の一覧表>

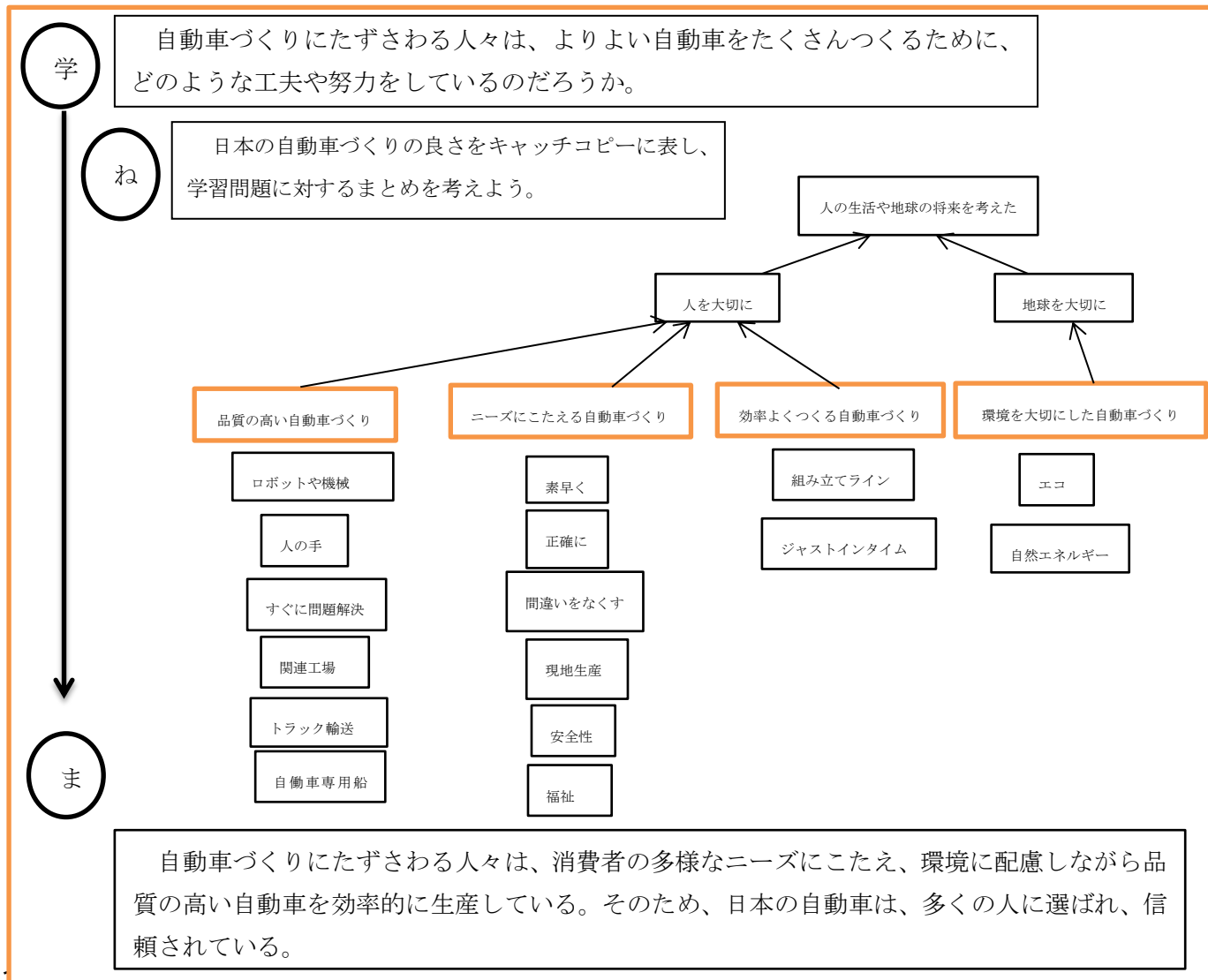
時数	学習	各時間のまとめ	(案) まとめカードに書く言葉
3	自動車を組み立てる工場	組み立て工場働く人々は、自動車を素早く安全に正確につくるため、ロボットや機械などを使い、作業を分担して自動車をつくっている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・素早く</li> <li>・安全に</li> <li>・正確に (正確に)</li> <li>・ロボットや機械</li> <li>・人の手</li> <li>・組み立てライン</li> </ul>
4	自動車づくりの工夫	組み立て工場働く人々は、よりよいものを効率よくつくるため、例えば、間違いをなくすために指示ビラを使うなど様々な工夫や努力をしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効率よく</li> <li>・安全に作業</li> <li>・間違いをなくす</li> <li>・すぐに問題解決</li> <li>・働く人が働きやすい</li> </ul>
5	自動車の部品をつくる工場	自動車の部品は、それぞれ組み立て工場の近くの関連工場で作られている。組み立て工場部品が必要な時間に合わせて工夫して作られている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関連工場 (関連工場)</li> <li>・ジャストインタイム</li> </ul>
6	世界とつながる自動車	完成した自動車は、トラックや自動車専用船などを使って消費者のもとへ届けられる。最近では、自動車の現地生産もさかんである。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現地生産</li> <li>・トラック輸送</li> <li>・自動車専用船</li> </ul>
7	人と環境にやさしい自動車づくり	自動車づくりに携わっている人々は、環境や安全性、福祉の視点などからも考えて自動車の研究や開発を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境 (エコ)</li> <li>・自然エネルギー</li> <li>・安全性</li> <li>・福祉</li> </ul>
8	海外で認められた日本の車	自動車には、環境や安全性に配慮した様々な機能が備わっている。それらは、社会で起きている問題や消費者のニーズとつながっている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニーズ</li> </ul>
9	学習問題に対するまとめをつくる	<p>自動車づくりにたずさわる人々は、に消費者の多様なニーズこたえ、環境に配慮しながら品質の高い自動車を効率的に生産している。そのため、日本の自動車は、多くの人に選ばれ、信頼されている。</p>	

人を大切に

地球を大切に

人の生活や地球の将来を考えた

<板書計画例>



<出典>

- ・「TOYOTA クルマこどもサイト」(<http://www.toyota.co.jp/jp/kids/>)
- ・自動車販売台数（読売オンライン 2016年1月28日）
- ・車の信頼度ランキング（朝日新聞デジタル 2015年10月22日）